

# 静岡ガスグループ2030年ビジョン

## 地域の皆さまと共につくる新しい価値創造のサイクル



2021年12月23日

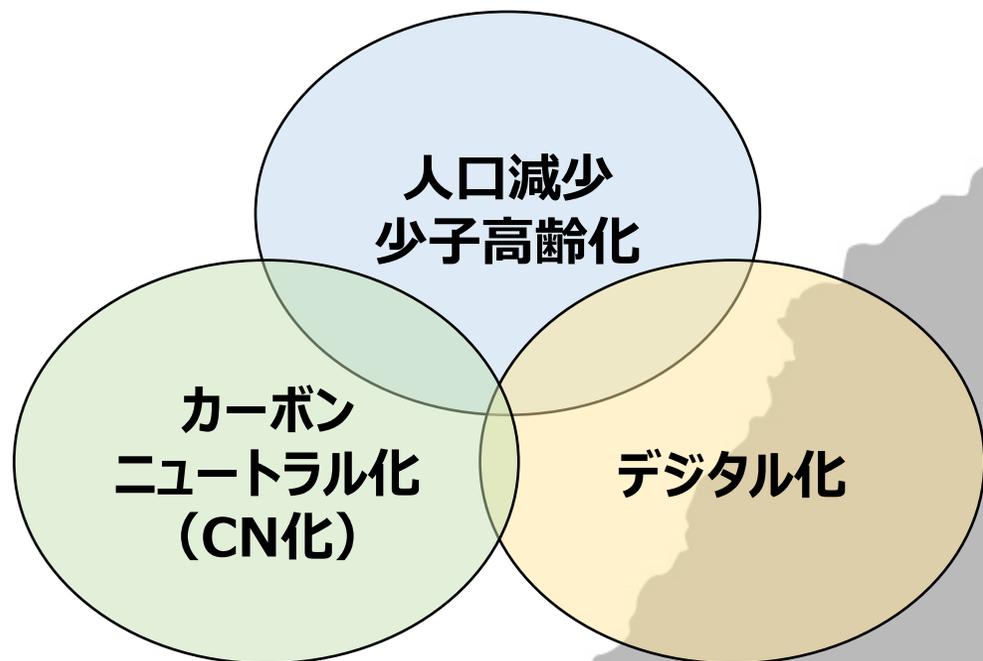
わたしたち静岡ガスグループは、地域が抱える様々な課題の解決に寄与し  
持続可能なくらしやすい地域づくりに貢献することを企業としての使命と位置づけ  
その実現に向けて経営方針をここに2030年ビジョンとして発表いたします。

I . 静岡ガスグループが描く将来像	
地域を取り巻く環境 ～2050年に向けた長期的トレンド～	4
静岡ガスグループの2030年ビジョン	5
目指す地域共創のかたち	6
地域共創におけるエネルギーのあり方	7
II . 2030年に向けた取り組み	
2030年 静岡ガスグループが目指す“地域共創”づくり	9
① ガス・LPG事業の取り組み	10
② 電力・再エネ事業の取り組み	11
③ 暮らしサービス・エンジニアリングサービス事業の取り組み	12
④ 新たなチャレンジ	13
⑤ 海外事業の取り組み	14
2030年 連結経常利益及び事業ポートフォリオ	15

# I . 静岡ガスグループが描く将来像

様々な課題が顕在化して先が見通しにくいなか、安全・安心、環境保全と経済的発展の両立、価値観の多様化によるQOL※1の向上など、新たな価値が求められています。

大きな潮流



顕在化する課題やトレンド

自然災害の激甚化	地震リスク	社会インフラの老朽化
労働人口の減少 雇用の不安定化	熱エネルギーのCN化	電化の進展
サービスのパーソナライズ化	ダイバーシティ&インクルージョン	データ連携による新たな価値創出

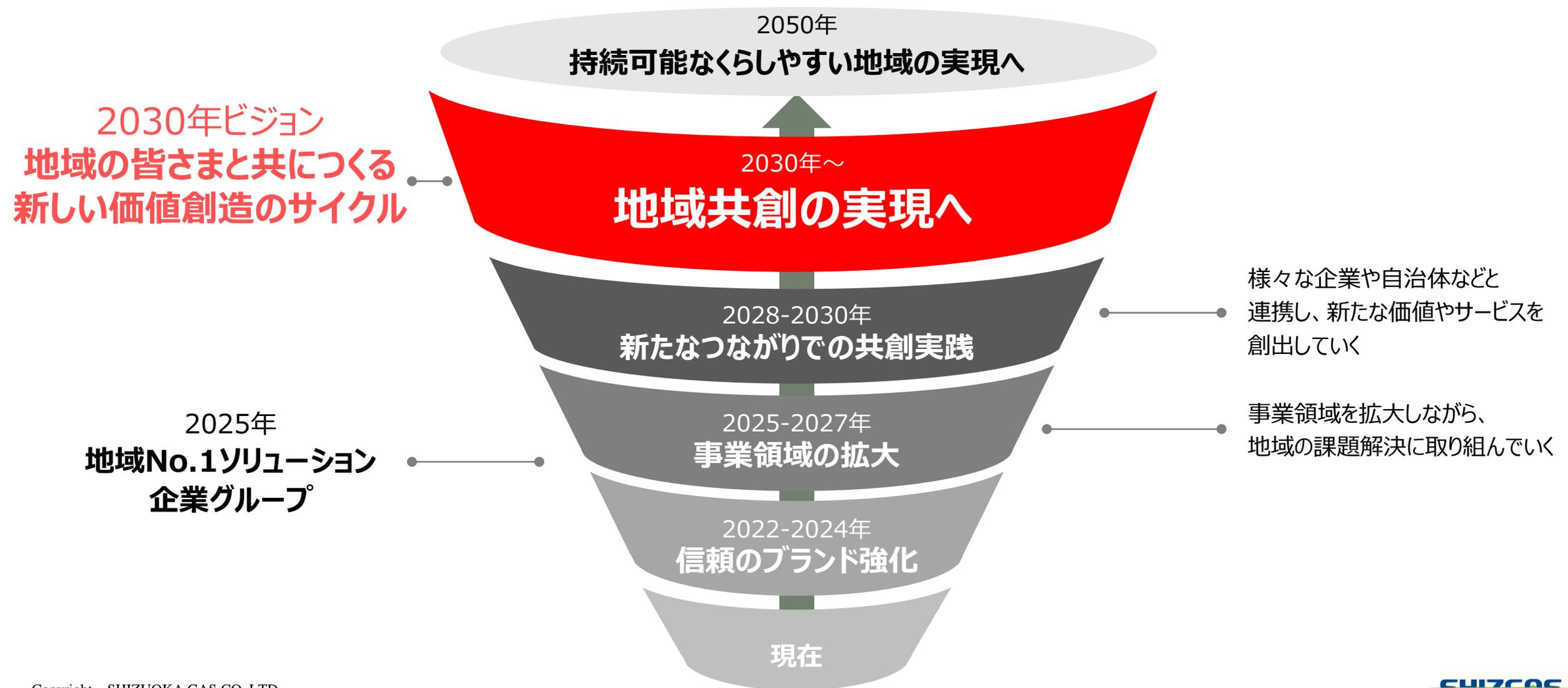
強靱なインフラへのニーズの高まり

環境保全と経済的発展の両立の必要性

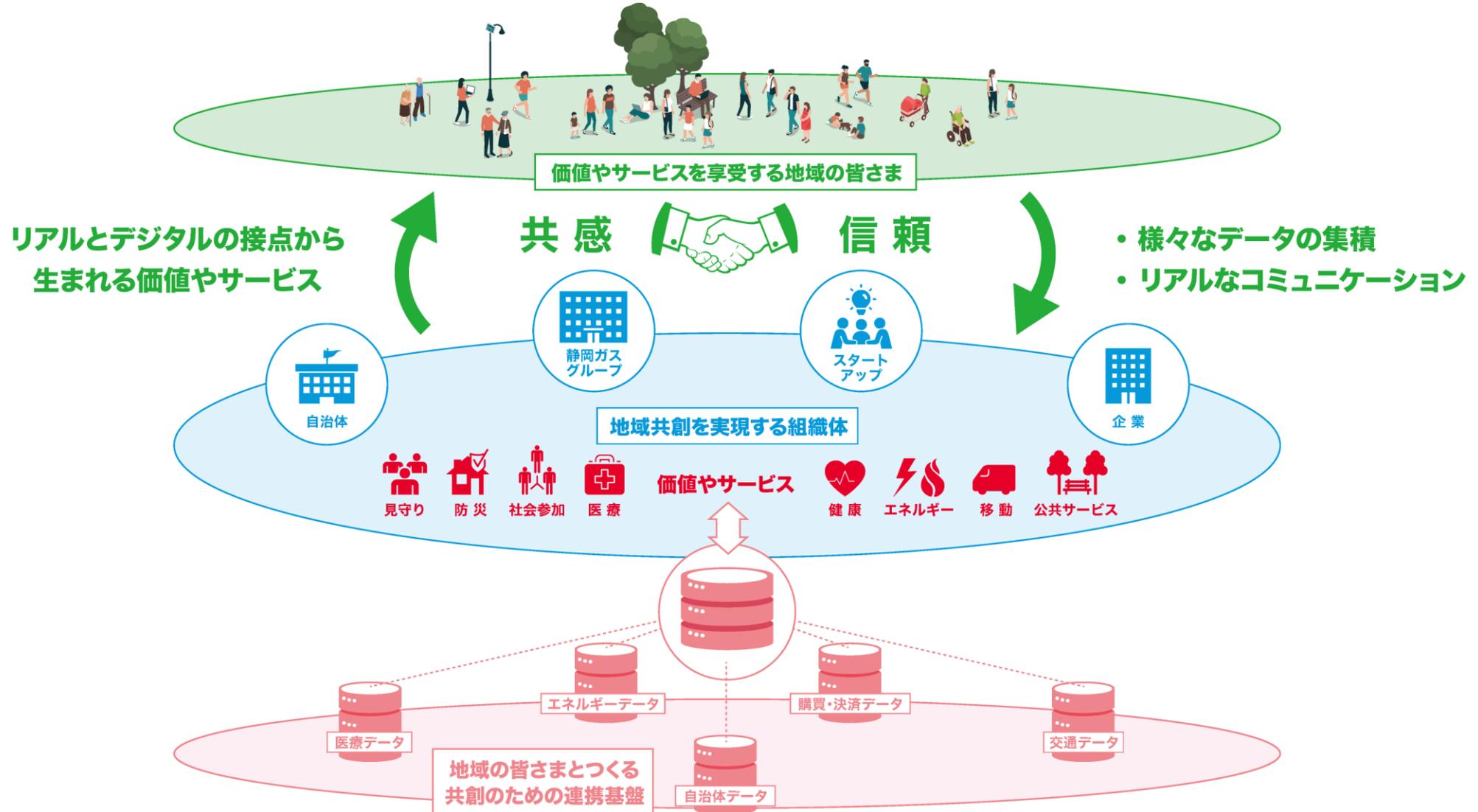
QOL向上への期待

※1 Quality of Life : 一人ひとりが自分らしい生活を送り、人生に幸福を感じているかという“生活の質”

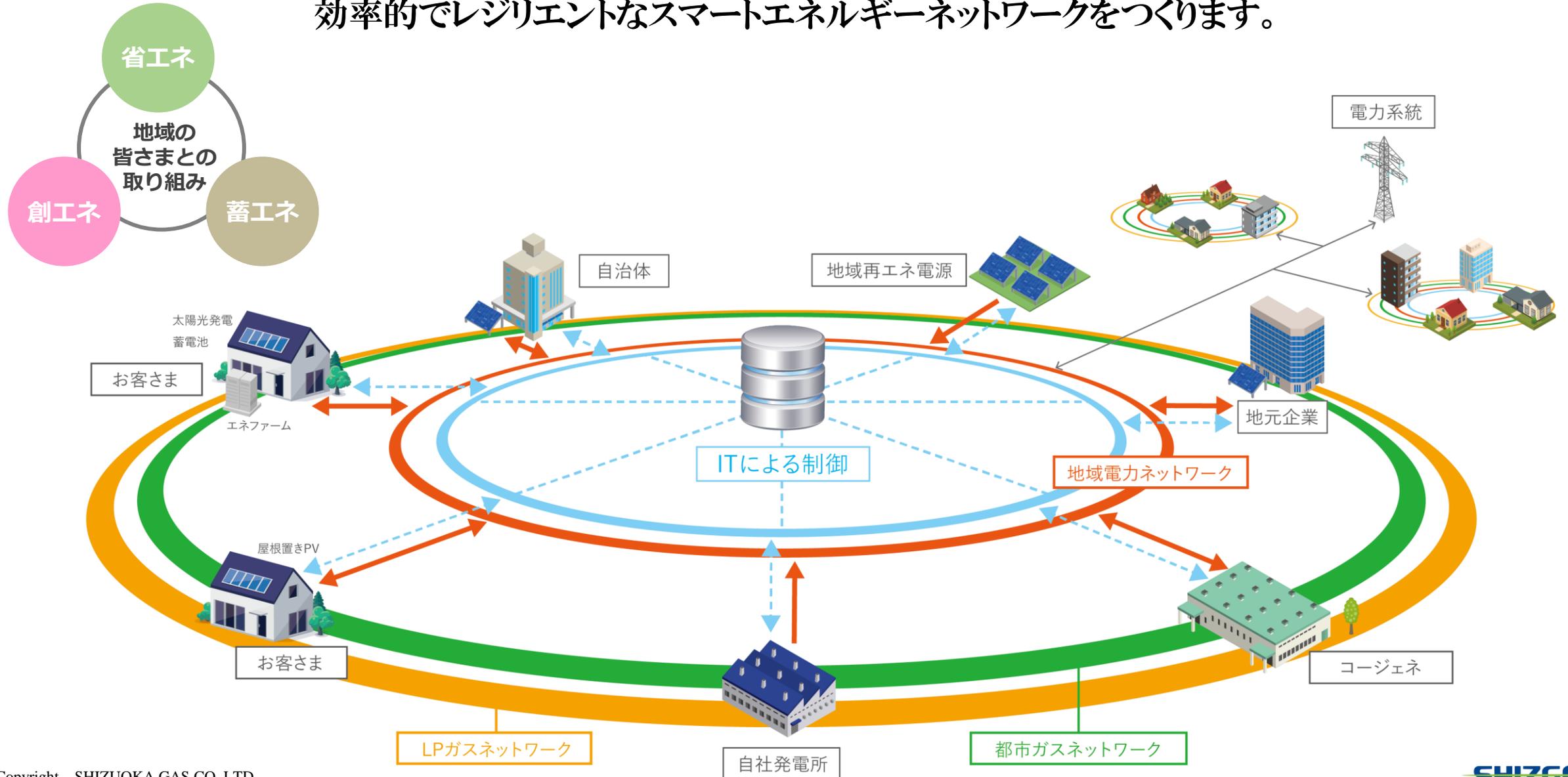
地域のお客さまや企業がつながり、それぞれの強みを持ち寄り連携する社会をつくりだすことで、  
新たな価値創造のサイクルをおこし、地域共創の実現を目指します。



地域の皆さまが必要とする“価値やサービス”を生み出し、  
 地域の声(リアル・デジタル)に耳を傾け、生活の質をアップデートしていくサイクルをつくります。

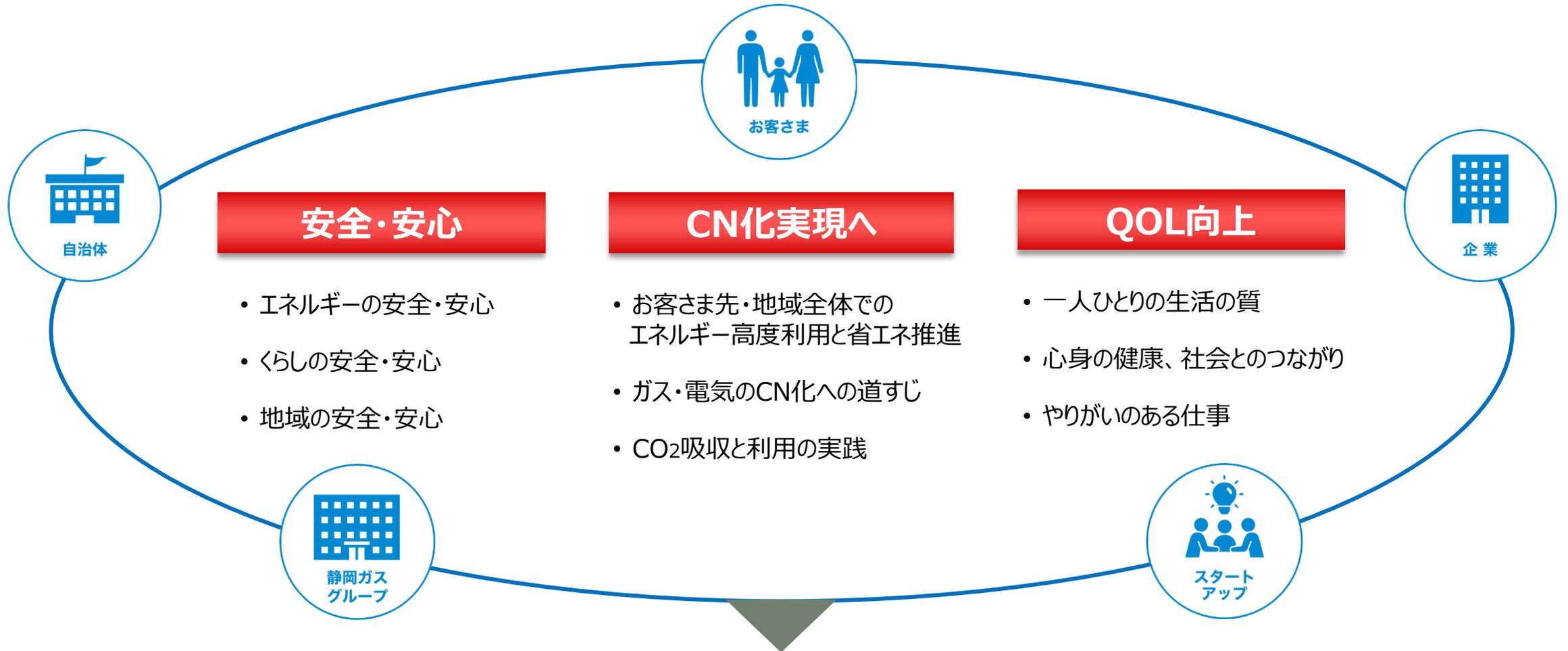


地域の再エネ電源やお客さま先の設備をデジタル技術でつなげ、電気や熱の相互融通を行い、効率的でレジリエントなスマートエネルギーネットワークをつくります。



## Ⅱ . 2030年に向けた取り組み

事業を通じて、地域のステークホルダー(お客さまや企業・自治体)とともに3つの視点から価値を提供し、持続可能なくらしやすい地域づくりを目指します。

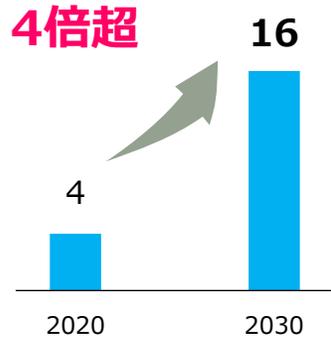


持続可能なくらしやすい地域

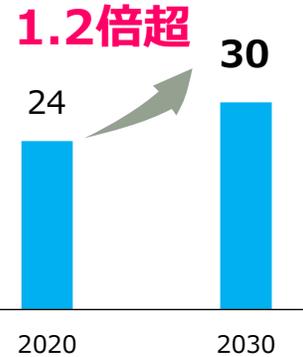
## <お客さま先でのCO<sub>2</sub>削減>

- ✓ 天然ガスへのシフト加速
- ✓ エネファーム、コージェネ普及拡大

エネファーム販売台数累計  
(千台)



コージェネ設置容量累計  
(万kW)

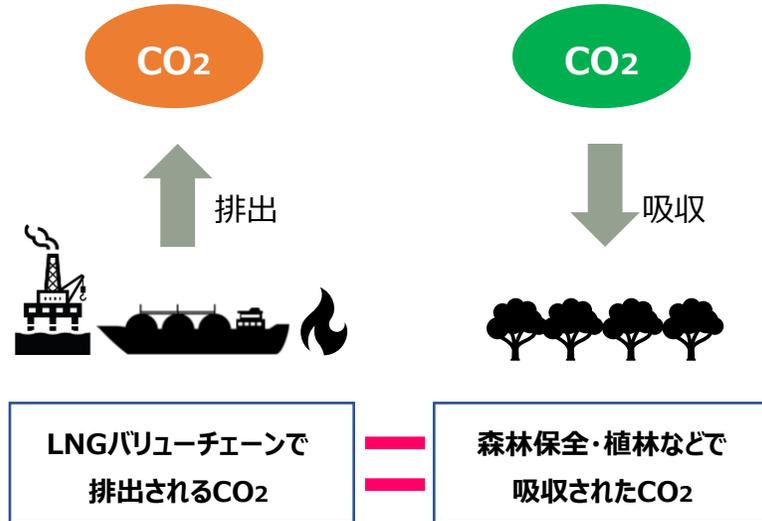


- ✓ お客さまと共に実施する省エネ推進



## <原料のCN化、CO<sub>2</sub>回収・利用>

- ✓ カーボンニュートラルLNG/LPG※2の導入



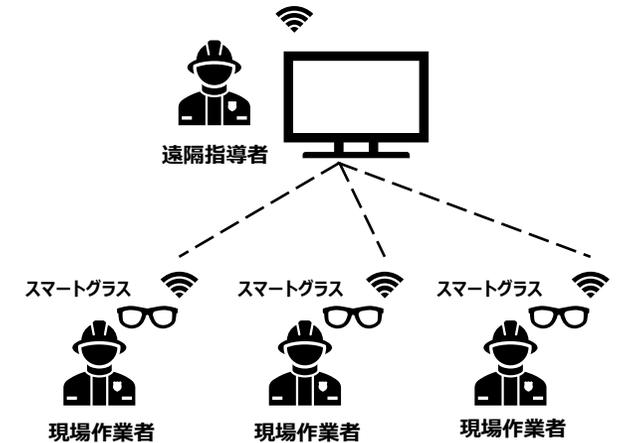
- ✓ 業界団体・学術機関などと共にメタネーション※3・CCU※4の技術開発を推進

## <安全・安心>

- ✓ 都市ガス製造・供給設備への継続的なレジリエンス投資
- ✓ デジタル技術を活用した保安レベルの向上・技術の伝承



ドローン・AIなどを活用したガス設備調査・可視化



デジタル技術による熟練技術の伝達

※1 お客さまの自発的な節電行動（行動変容）を促し、エネルギー需要の抑制を目指す取り組み

※3 水素とCO<sub>2</sub>から天然ガスの主成分であるメタンを合成する技術

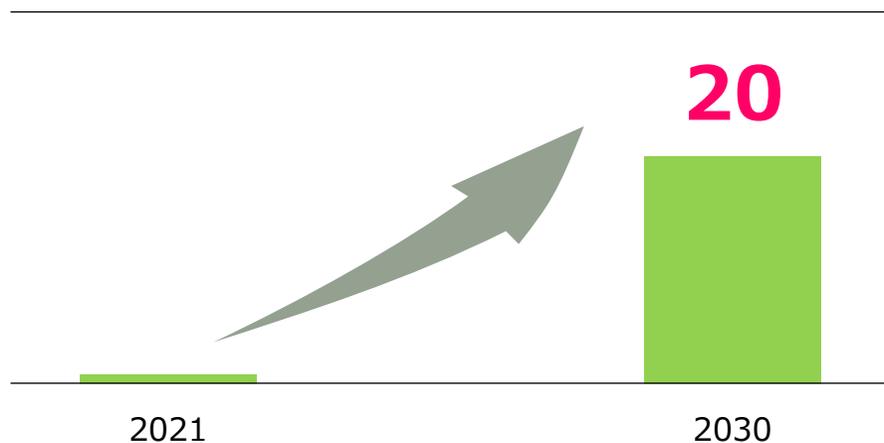
※2 採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを森林の再生支援などによるCO<sub>2</sub>削減分で相殺したLNG/LPG

※4 CO<sub>2</sub>を資源と捉え、回収・利用する技術

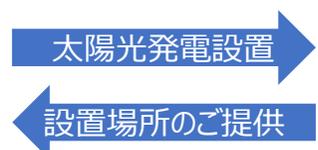
＜再エネ開発＞

- ✓ 太陽光発電、バイオマス発電の開発推進
- ✓ 耕作放棄地への太陽光発電設置など、地域資源を活用した再エネの開発

2030年累計  
再生可能エネルギー電源開発容量（万kW）



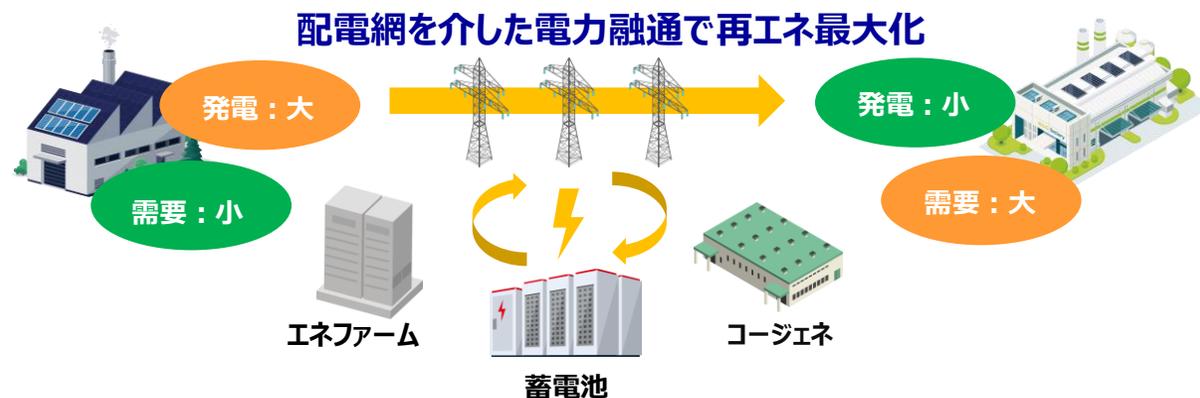
【営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）】



＜電力の地産地消＞

- ✓ 再エネの地産地消の仕組み構築
- ✓ 蓄電池や分散型電源（エネファーム・コージェネなど）の接続による再エネの最大導入および電力網のレジリエンス強化

【電力レジリエンス強化の取り組み】



エリア内での創蓄制御による防災強化

【自治体と地域住民の電力融通の仕組み】



＜お客さま・企業の課題解決＞

✓ お客さまデータを集積・分析し、リアル接点とデジタル接点の活用による個々のお客さまのライフステージやビジネスに合った課題解決の実践

暮らしサービス

リアル接点



お客さまデータ

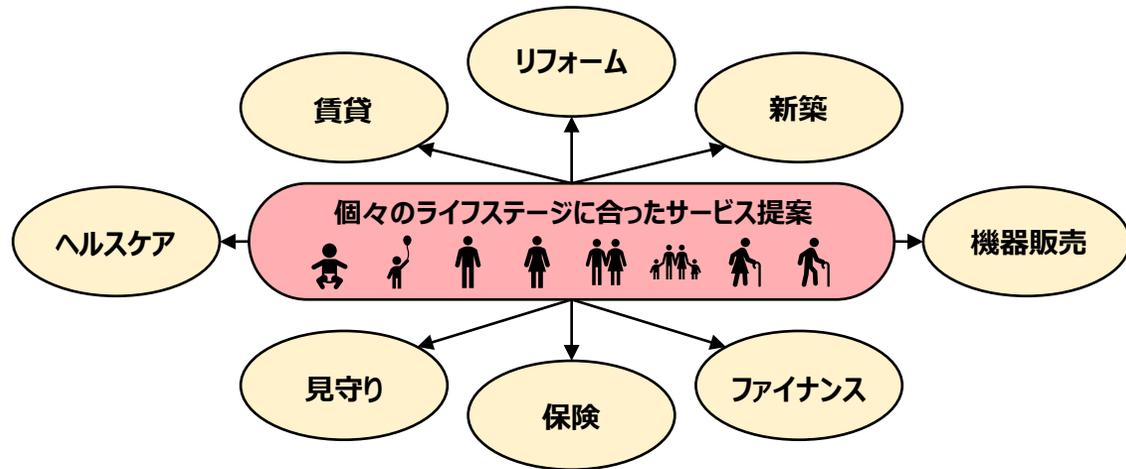
定期点検  
仮説検証型ふれあい巡回  
お困りごと相談

デジタル接点



リアルタイムデータ

エネルギーデータ  
バイタルデータ  
住環境データ など



エンジニアリングサービス

リアル接点



お客さまデータ

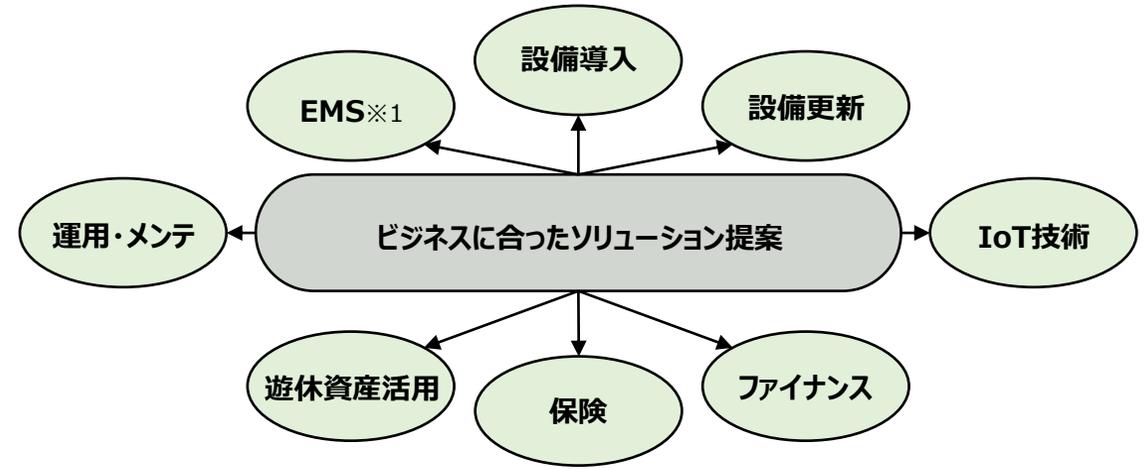
メンテナンス訪問  
定期面談

デジタル接点



リアルタイムデータ

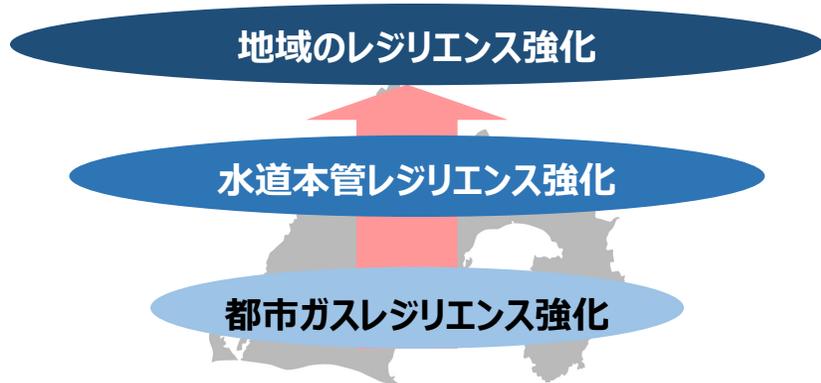
エネルギーデータ  
設備稼働データ  
など



※1 事業所・ビル、店舗などの空調、照明、動力などのエネルギーを最適に制御するシステム

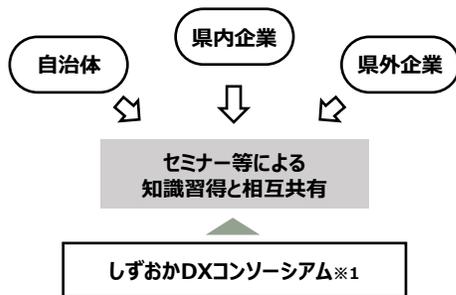
＜地域共創による地域課題解決への挑戦＞

- ✓ 水道本管・地域のレジリエンス強化

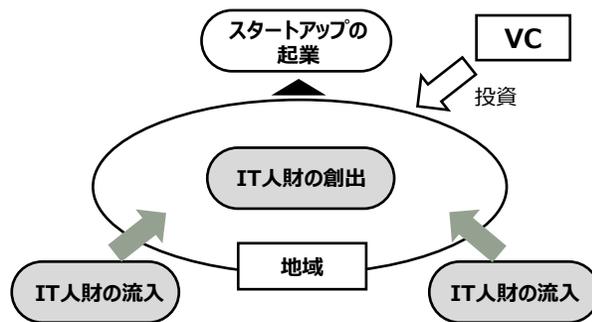


- ✓ 地域のDX推進によるIT人材の育成・呼び込みと、産業の創出・拡大

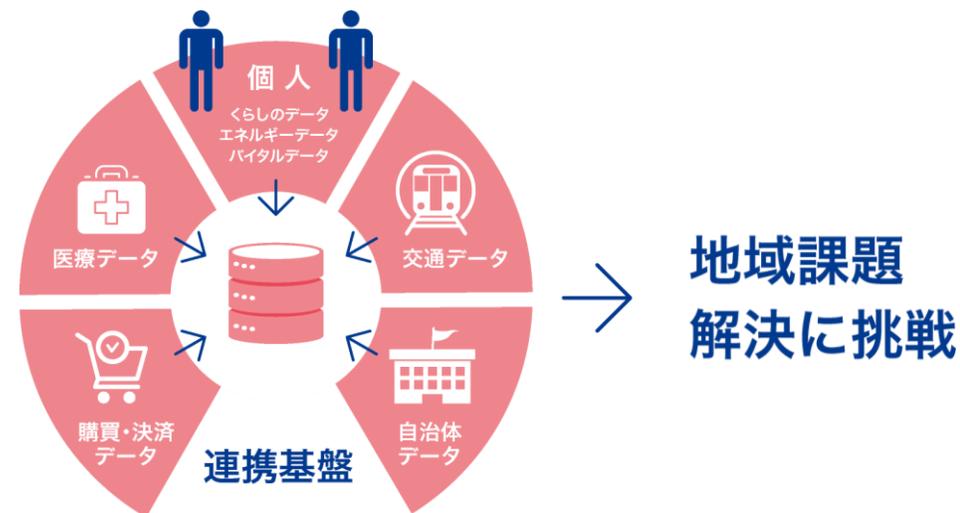
【現在の取り組み】



【目指す姿】



- ✓ 地域のデータを連携し、デジタル技術の活用とステークホルダーとの共創による事業活動を通じた地域課題解決



- ✓ 国内外の森林保全プロジェクトへの参画



※1 静岡鉄道株式会社、株式会社静岡銀行、静岡ガス株式会社により設立された、地域の皆さまのDXを推進するための任意団体

※2 適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>などの吸収量や、再生可能エネルギーの活用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量をクレジットとして国が認証する制度

<グローバルでの課題解決>

- ✓ 東南アジア地域を中心に、国内ガス事業で培った技術やノウハウを活用して天然ガスシフト・エネルギーの高度利用を推進し、グローバルでのCO<sub>2</sub>削減に貢献
- ✓ 地域に適した再生可能エネルギーの開発を推進
- ✓ 二国間クレジット制度を活用して、海外でのCO<sub>2</sub>削減貢献分の一部を国内に還元



<今までの取り組み>

■ タイにおける天然ガス発電事業



(2015年～)

■ インドネシアにおけるガスエネルギー事業



MEP社との協業 (2017年～)

■ タイにおける太陽光発電事業



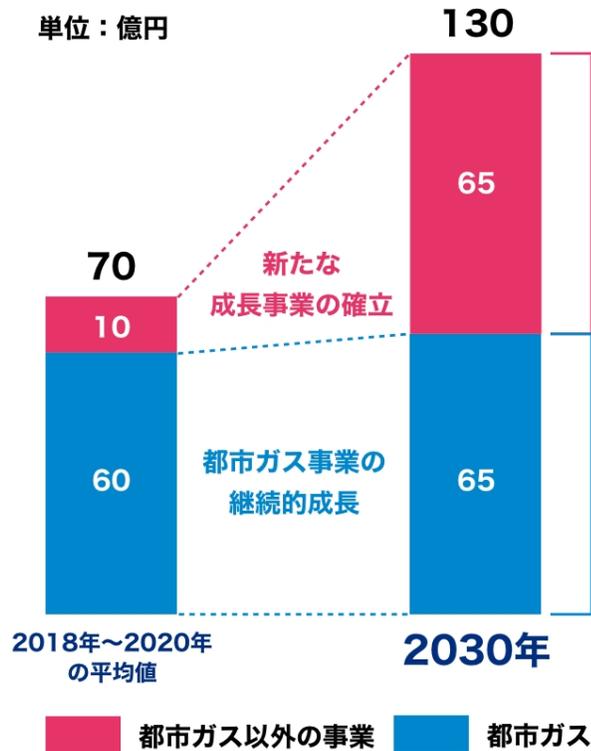
ラーチャパット・マハサーラカム大学におけるプロジェクト (2021年)



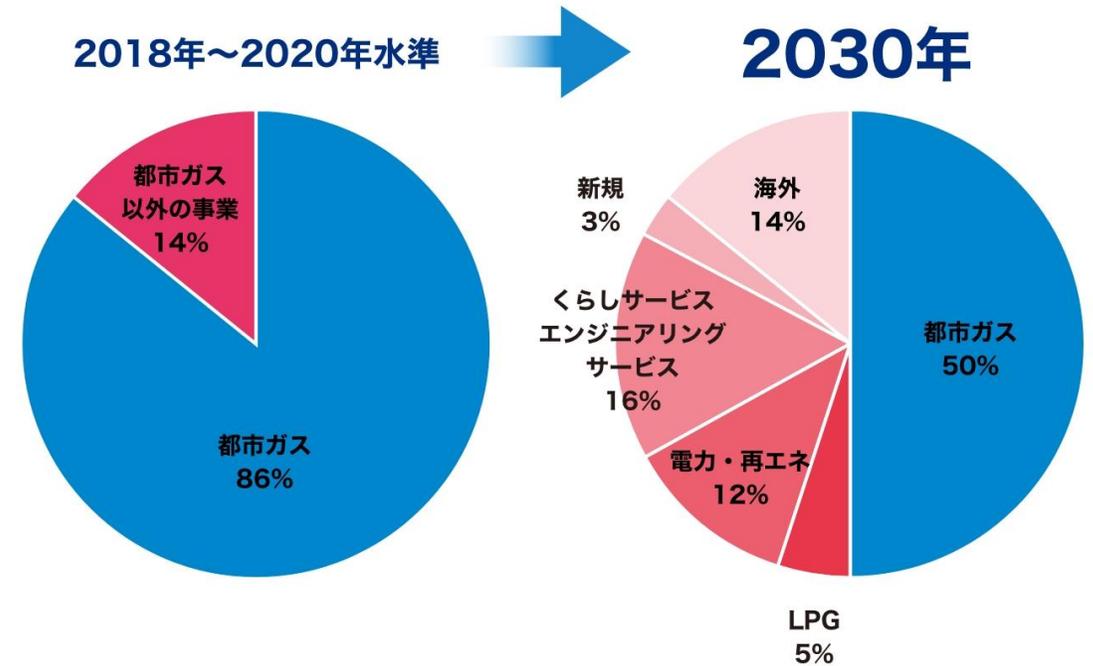
都市ガス事業の継続的成長を図りつつ、新たな成長事業を確立することで、さらなる成長を目指していきます。

連結経常利益

目標とする事業ポートフォリオ



基盤事業と成長事業の利益比を1：1に



【本資料の記載内容に関してのお問合せ先】

静岡ガス株式会社

〒422-8688 静岡県静岡市駿河区八幡1-5-38

経営企画部 経営企画担当

電話番号：054-284-7988

FAX番号：054-283-1724